

学院大生2人、OCPで奨励賞



花の種のパッケージをデザインした末永夏己さん（左）と前嶋晃子さん＝つくば市吾妻の筑波学院大前

地域活性化の一端担う

花の種包装デザイン

筑波学院大学のオフキャンパスプログラム（OCP）で、花や緑の美しいまちづくりに取り組むNPO法人つくばアーバンガーデニング（TUG）にメモ参照Ⅱが販売する花の種のパッケージに学生2人のデザインが採用された。2人の活動は「地域活性化の一端を担った」と評価され、2日に開かれた活動報告会で奨励賞を受けた。

（山本一暁）

つくばでのイベントで販売

奨励賞を受けたのは、メデアデザインがデザインした花の種のパッケージ。TUGが主催するイベントやバザーで販売されている。以前から2人とも絵を描くのが趣味。大学ではイラストレーターを専攻している。大役を果した2人は「パッケージデザインを任せてもらえることへの喜びを話した。」と達成感を話した。

となんて想像もしていなかったし、奨励賞にもまだ驚いている。認子さんは「パソコンがめられてうれしい」と笑顔を弾ませた。

◆ TUGは、OCP立ち上げ当初の2005年から学生を受け入れ、学生それぞれの得意分野の能力や長所を生かせるよう工夫し役



学生がデザインした花の種のパッケージ

た時はブログを開設してもらい、今でも使い続けている」と話す。昨年6月11日に受け入れた末永さんらにも、長所を生かした役割を考えて当初はしおり作成を依頼。想像以上の出来栄で、花の種のパッケージデザインも任せられた。

◆ memo つくばアーバンガーデニング市民参加のまちづくりを目的に、市内の緑化活動を行い、花や緑を愛する人たちの輪を作っているNPO法人。松見公園やつくば駅、ペDESTリアンデッキなど主に公共機関の周辺に花などを植え環境整備を行っている。